

令和7年コウナゴ曳網調査結果 (第4報)

令和7年3月5日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

令和7年3月3日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深29m)

141-10E(水深37m)、141-15E(水深53m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

9.8°C~10.0°C

(2)コウナゴ採捕数(図1)

一番灘の定点にてコウナゴが2尾、採捕されました。

全長は24.7mm、26.0mmでした。

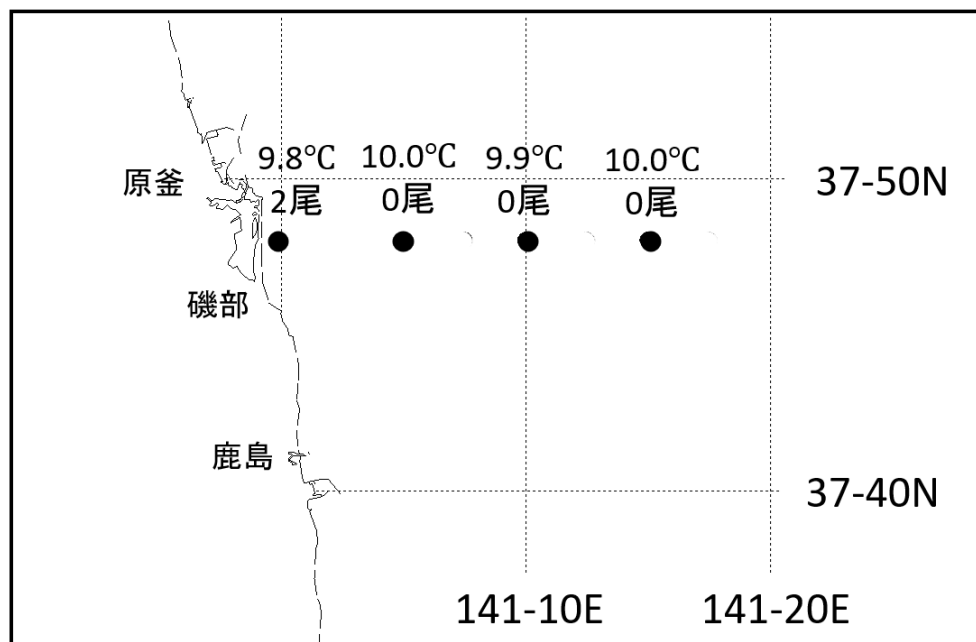


図1 コウナゴ採捕数

(3)過去の調査結果との比較(図2)

1 定点あたりのコウナゴ採捕数は令和元年以降、極めて少ない状況が続いています(図2)。福島県の年別コウナゴ漁獲量を図3に示します。令和元年以降、漁場が形成されないことから、操業は行われていません。

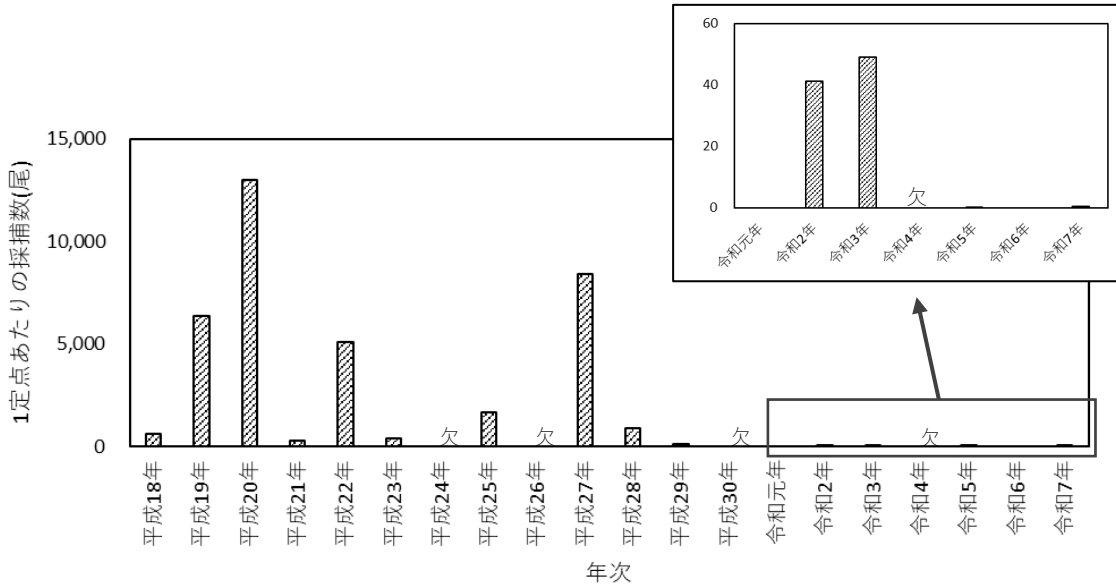


図2 相馬海域における1 定点あたりの採捕数(3月平均)

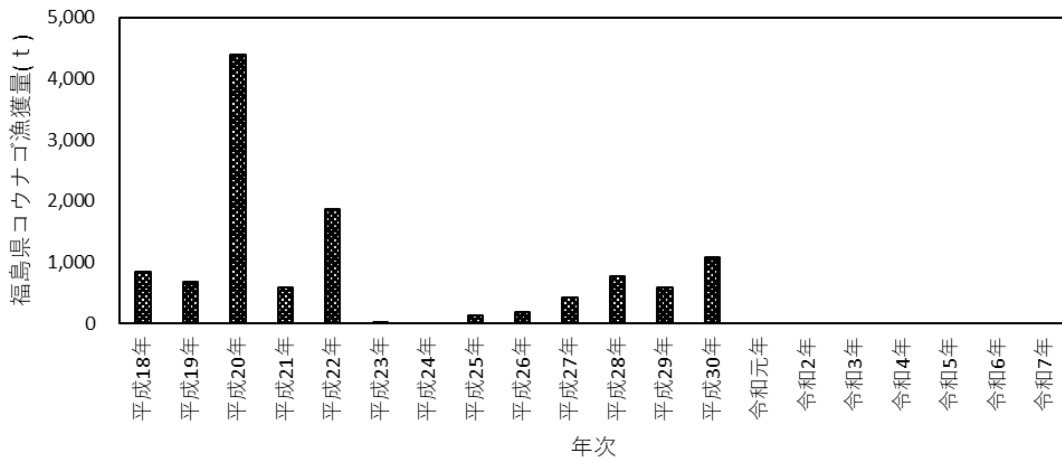


図3 福島県の年別コウナゴ漁獲量